きばちゃんず・ボイス

VOL. 2

新しい時代！大阪の元気！堺の元気！

安心教育・地域再生で元気！

教育制度改革は、地方自治体でも取り組める最も身近で重要な政策です。日本全国で文部科学省の決めた画一的な指導から脱皮して、独自の教育改革を行う自治体が激増しています。資源の無い日本にとって、**次代を担う子供たちに質の高い教育を提供する**のは最優先事項ではないでしょうか。私たちの堺市も**各学校独自の自主的な運営**や、**教育の質の第三者評価**をどんどん取り入れていくべきだと考えます。高等教育に関しても、ここ堺市中区には大阪府立大学があります。**府大が持つ知的財産を地域で有効に活用**して、産業振興を図る。これも**地域プロデューサーとしての政治**の大事な仕事です。産学官連携は決して掛け声だけで終わってはいけません。もう一つ、「日本は水と安全はただやから」といって笑っていられる時代では無くなってきました。**治安対策**の意味でも「**地域で子供を育てる**」といった感覚が今こそ必要です。商店街を中心とした、わが国独自の生活圏のあり方をもう一度見直す必要があります。政令市になった今、『**安心して子供を生み育てられる堺**』、『**中区のことは中区で決める！**』これらが一番重要です。生まれ育った故郷「さかい」を誇りに思う街づくりをすすめましょう！

「木畑くん一緒にがんばろう！」
小沢代表とともに。

変えます！30才

直撃！木畑ただしの本音。

Q. どんな政治がしたいん？

A. 具体的な政策は順次お話しするとして、まずは大きな目標を三つ挙げます。まず*「誇り高き日本の継承」*。戦争に負けてから、悪いことばっかりした国として教えられてきた日本。経済成長の傍らで、自国のアイデンティティーは置き去りにされてきました。世界がどんどん狭くなっているこれからの時代、そんな状態では世界に通用する国家として尊敬を集める事は出来ません。過去の反省は反省として、二千年育んできた独自の文化をもち、欧米諸国以外ではじめて世界の大国の仲間入りをしたすばらしい国であることを、次の世代にも伝えていかねばと考えています。

そして*「額の汗が報われる社会」の実現。*戦後６０年の自民党政治は、確かに良いところもありました。しかし流れの止まったところには必ずよどみが生じます。固まってしまい硬直化した政治の中で、人知れず税金を喰い物にしている機関や制度は許せません。まじめにコツコツ働いた人が報われるような税制や社会保険制度を実現します。

最後に*「未来に責任を持つ政治」への挑戦*です。今や日本の借金は８００兆円。国民一人あたまに換算すると約６００万円になります。私たちの子供や孫の世代につけを回しておいて、今が良ければ構わないという政治が、果たして本当に良い政治であるといえるでしょうか？日本に暮らす人々の政治に対する信頼感は、先進国でも抜きん出て低い。手遅れになる前に、「この国に生まれて良かった」と思える日本、大阪を一緒に創っていきましょう！